

救急看護学

選 択

開講年次：3 年次後期

科目区分：講 義

単 位：1 単位

講義時間：15 時間

■**科目のねらい**：救急医療と看護の特徴を理解し、救急患者と家族に適切な看護を提供するために、救急病態を理解し、必要な処置・治療に関する知識を習得する。

- 到達目標**：①救急医療・救急看護の特徴と役割、現状について理解する。
②救急患者にみる多彩な病態と治療および看護について理解する。
③生命危機状況にある患者・家族の心理状態と心のケアの必要性を理解する。
④脳死と臓器提供について理解し、救急看護師の役割を考察する。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎菅原 美樹・三上 剛人

■**授業計画・内容**：

第 1 回 救急看護学概論

わが国の救急医療制度、札幌市の救急医療体制、救急患者の特徴、救急看護の特徴と役割

第 2 回 プレホスピタルケアとその実際

プレホスピタルケアとは、プレホスピタルケアの実際、札幌市のプレホスピタルケアの現状、救急看護師との協働

第 3 回 救急看護に必要な基本的看護技術

二次救命処置（ACLS）、包帯法

第 4 回 救急病態と看護ケア①

急性呼吸不全、熱傷の病態理解と治療および看護ケア

第 5 回 救急病態と看護ケア②

外傷、中毒の病態理解と治療および看護ケア

第 6 回 救急患者の家族の心のケア

救急患者・家族の心理的特徴、救急患者と家族のニーズの把握と心のケア

第 7 回 脳死下における臓器提供の現状と倫理的課題

日本における脳死と臓器移植の現状、脳死と臓器提供における救急看護師の役割

第 8 回 まとめ 課題学習

■**教科書**：教科書は使用せず、毎回資料を配布します。

■**参考文献**：『救急看護学』／山勢博彰・山勢善江・菅原美樹編（医学書院）

『看護のための最新医学講座第25巻救急[第2版]』／日野原重明他監修（中山書店）

『救急ケア』／中村恵子監修（学習研究社）

『ACLSプロバイダマニュアル』／American Heart Association（中山書店）

■**成績評価基準と方法**：定期試験80%、課題20%

評価方法	到達目標				評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③	到達目標④		
定期試験	◎	◎	◎	○	60%以上正解していること	80
課題				◎	課題の提出と内容の適切性	20
出席					2/3以上の出席	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：重症集中ケア

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：人間の命を救うという意味において、救急看護は看護の原点です。救急医療の第一線で活躍している講師陣の講義から、わが国の救急医療と看護について学びを深めましょう。